



SERVICE CLUB TO THE YMCA

Nagoya GRAMPUS

名古屋 グランパス ワイズメンズクラブ

NAGOYA YMCA 5-29KAMIMAEZU2-CHOME NAKAJI,
NAGOYA 460 JAPAN



- ① 国際会長標語 学びと奉仕と分かち合い
- ② アジア会長標語 天地の調和を取り戻そう
- ③ 日本区理事標語 新リジョン! さあ前進!
- ④ 中部部長標語 共に勝つ!
- ⑤ 会長標語 思いやりと勇気を持って突き進もう

1996年 11月号

<今月の聖句>

わたしは証しますが、彼らは力に応じて、また力以上に、自分から進んで、聖なる者たちを助けるための慈善の業と奉仕に参加させてほしいと、しきりにわたしたちに願い出たのでした。

コリントの信徒への手紙 2 第8章3~4節

1996年11月例会のご案内

◎ 第一例会

と き : 11月12日(火) 19時より
 ところ : 名古屋YMCA 407号
 プログラム : 視聴覚障害と手話について
 スピーチ : 常川里美

◎ 第二例会

と き : 11月26日(火) 19時より
 ところ : 名古屋YMCA 407号

◎ サンドルクラブ訪問 (韓国IBC)

と き : 11月3, 4日

◎ 日本区実行委員会

と き : 11月5日(火) 19時より
 ところ : 名古屋YMCA 407号

◎ チャリティーラン

と き : 11月9日(土)
 ところ : 名城公園にて
 集 合 : 9時全員集合
 食事・設営の準備有り時間厳守!

◎ 街頭募金

と き : 11月17日(日)
 ところ : 栄にて(予定)
 詳細は第一例会にて後日連絡

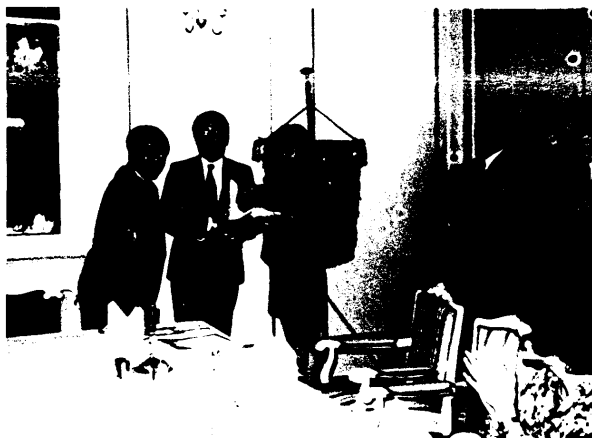
第一例会報告

今回は 日本区大会のディナーパーティのメニューの試食会を兼ね ホテルナゴヤキャッスルにて行いました。洋食コースとビュッフェの2種類試食しましたが各自どちらかしか食べられないため互いのメニューが気になる様でした。シェフによる料理内容の説明も受け、当日忙しくて食べられないかも知れないため充分味わいました。個人的には量は適当でしたが全体的に味は甘めの様な気がしました。今回特別料金で半額にいただき感謝 こんな試食会なら何回でも歓迎です。

インフォメーションニュースのためのメニューを撮影しましたが、各地の部会のPRでホテルのロケーションやパーティが着席のこと料理が豪華だという様に宣伝していますので実際の内容をより一層満足のいくものにしていくため十分吟味したいと思います。最後に鳳凰の間を見学しましたが、名古屋で一番広い宴会場で開かれ

る来年6月7日の模様を思い描きながら一層気合いが入る思いでした。

馬場 寅太郎



9月30日	例会出席状況				BFポイント		クラブファンド(月)	
	在籍者	20名	第1例会	18名	当月・切手		ニコBOXノット	0
	例会出席者	18名	第2例会	15名	当月・現金		ファンド	¥37,491
	当月出席率	90%	部会他	15名	累 計		合 計	¥37,491

**北東部（仙台）南東部（沖縄）
部会報告**

北東部：三井・井川 10月12・13日
南東部：井川ファミリー 10月26日

まず北東部部会、前夜祭にぎりぎりに間に合い取り合えずはセーフ。部会当日少し早く会場へ行ったおかげで午前に行われる評議会に参加する事が出来、早速評議会にて日本区大会を約10分間に渡ってアピールする事が出来ました。部会には約180名の出席者、その約七割が東京のクラブからのようでした。部会でもアピールに十分な時間を頂戴でき、各クラブの役員には評議会と部会とで2回アピール出来た事に先ずは満足でした。

続いて沖縄、こちらはDBC締結のため京都プリンス7名、京都キャピタル7名を含め194名の参加で、八割がた東京・横浜のクラブからの出席のようでした。壇上でのアピールには子供に横断幕、妻にはA3の掲載紙を持たせ、北東部に続き二度目のアピールとなり自信と落ち着きとで説得力ある話



が出来たのではないかと自負しております。もちろん家族による日本区大会アピールはとてもユニークで、その後の懇親会にも参加者の面々から励ましや「よかったヨ！」と受けがよくかなり印象深かったと感じております。北東部と南東部の参加で日本区役員（鈴木健次氏、太田太氏、奈良昭彦氏等）の方々との面識が持つ事が出来、協賛広告についてかなりつつこんだ話をし、各役員との強い協力でクラブに働きかけをしてもらえるよう懇願して参りました。今回の大会アピールの目的は、全員参加登録をお願いすることはもちろんのこと、むしろ各部長、会長、にいかにも協賛広告を理解してもらえるか、具体的に各クラブでどうすればよいのかを中心にアピールしてまいりました。部会の中で参加者の面々と話をすればするほど非常に難しい事を我々はやっているのだと感じました。

念には念を押して部会の翌日には、日本区役員、部長をはじめ、大会実行委員長、各クラブの会長、また名刺交換をしたメンバーには部会でのお礼と、協賛広告の趣旨と協力のご理解を賜るよう今一度手紙を出ささせていただきました。とりあえずやることはまずやったという感じです。

井川 幸吉



**名古屋YMCA
バザー**



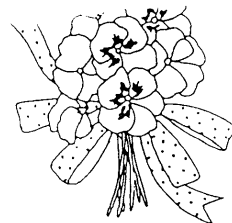
秋晴れを絵に描いたようなバザー当日。昨年は天気がぐずついたので今年こそはという気持ちで一杯だった。午前10時さあ開店だ！売るぞ、売るぞと思い、「さあっいらっしやい」と客を呼び込む。しかし人が入って来ない。11時になってやっと少し入りだしたが、まばら状態。目玉商品のはずの物にも目もくれない。こういう状態がしばらく続く。このままではいけないと思い、やむを得ず断腸の思いで目玉商品を更に半額にする。しかしそれでも売れ行きに勢いが無い。こんなはずじゃなかった。例年ならば、正午には総売上げの三分の二を達成しているのに今年はまだ半分にも満たない。平成の世を吹く不況の風はここYMCAにも吹いているのかと痛感する。

午後4時閉店になっても、最低ノルマが達成できずにいたら、池野氏はじめ多数の皆さんに大変ご親切にも、数万円買って頂きホッと胸をなでおろした。実際には皆さんに押しつけた格好であった。とにかく本日は「グランパスの心意気」を感じる感謝・感謝の日でした。皆様本当にありがとうございました。

城 久司

お誕生日おめでとうございます

- メンバー 6日 坂口 功祐
- 7日 服部 庄三
- メネット 4日 坂倉 加代子
- コメント 28日 坂倉 大輝



おめでとう！

馬場 寅太郎
新（自宅）

0568-32-5322



富士山部部会報告 (熱海)

坂倉・加藤 (道) 10月13日

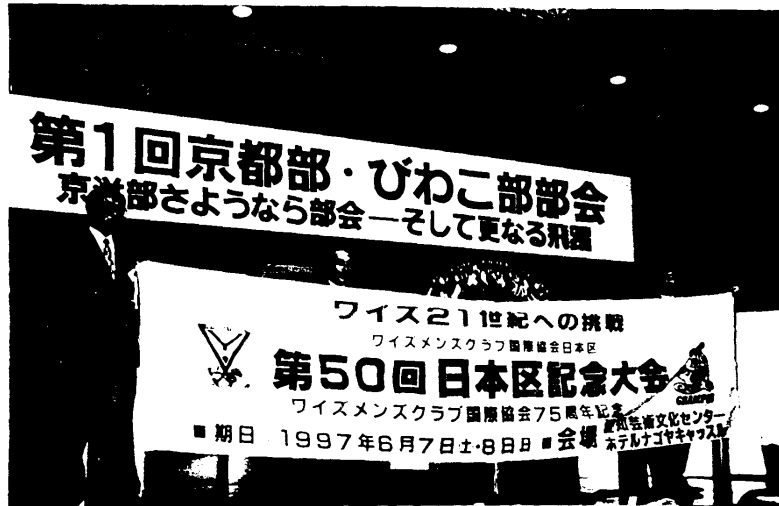
元箱根、十国峠に向かう途中に位置する姫の沢公園・少年自然の家で行われた第19回富士山部部会に参加し、山本部長の開会点鐘で始まった第1部にアピールの時間をいただき、富士山部より一人でも多くの方々の参加をお願いし、また協賛広告についてのご理解並びにお願いをいたしました。

第2部の親睦オリエンテーリング、第3部の懇親会(バーベキュー)はとても和やかな雰囲気の中、「日本区大会は必ず参加しますよ。」と暖かい言葉や、協賛広告の申し込みをいただいたりと多くのワイズメンとお話する事ができました。自然の中で、みなさんが生き生きと楽しく過ごしているのを見たり、私たち自身が心より楽しみ、良い経験をさせてもらっているを感じながら、来る日本区大会でも多くの人々の出会いと再会の喜びを担い、明日に続く大会にしたいと思いました。熱海クラブの方々にも大変お世話になり、ワイズの姿勢、ワイズメンとしての深い絆を教えていただいた一日でした。 加藤 道子



京都部・びわこ部部会報告 (京都)

荒川・吉田 (正) 10月13日
第一回京都部・びわこ部部会の巻



10月13日(日)京都グランドホテルにて21クラブ約500名の参加者という副区大会規模で盛大に執り行われました。日本区大会アピールは、第一部式典の厳粛な雰囲気の中、足元の震えを覚えつつ大変緊張して全員登録をお願いしたところ、確かな手応えを感じました。第二部講演会に続き第三部懇親会は円卓出行われ、会食内容・アトラクションも併せて日本区大会の貴重な参考になりました。詳細は実行委員会です。

荒川 恭次

グランパストーク

“リマインディング”

リストラ、リエンジニアリングの次はリマインディング（志を変える？）と言われて個人としてのリマインディング考。

カナダの国際大会でネクタイ・スーツが目立つ集団は日本と韓国のワイズメン、ユニフォームなグループとして移動する日本人に加えて、特に最近韓国の方々の集団を旅先で良く見かけます。“何か違う？”高度な経済成長をとげた、又はとげつつある両国にとっては画一的である事が共通条件であるのでしょうか！

仕事の事で恐縮ですが、最近欧州の製造業を訪問する機会が多く、工場を見学して日本と一番違うことは、ヘルメットをかぶっていないことと、ユニフォームが少なく私服で実にリラックスした働き振りが印象的です。少し以前ならあまり気にもする必要の無いことでしたが、今は何とこの人々に会社としての利益の面でも負けているところが、私が今関係している業界では多くなってきました。“何か変だ”彼らは長期休暇をエンジョイし、年間労働時間も我々より短い…！。

グランパスエイトの監督がベンゲル氏に代わり、ストイコビッチの活躍も手伝っての大躍進はご承知の通りです。改めて指導者の重要性を痛快！

五十を過ぎて、定まらぬ想いの多い毎日で申し訳ない気もしますが、何かもっと良い“志”があるはずとプラス志向で自身をなぐさめ“脳内革命”を実践中。何だか良く判らない？そうです私にも良く判りません。次は“開眼編”を乞うご期待！。

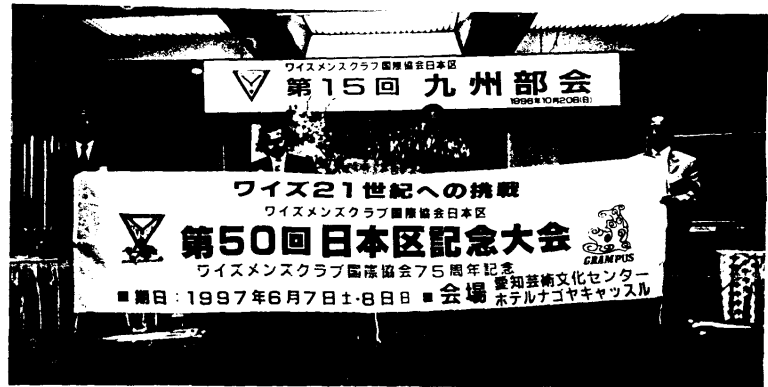
吉田 一誠

九州部報告 (福岡)

荒川・三井・服部・阿部 10月19・20日

去る10月19日(土)20日(日)にかけて、上記4名で第15回九州部大会に出席して参りました。鋭気を蓄えるべく、大会前日の19日夕刻には福岡へ乗り込み、ホテルに着くや否や中州(…楽しいところ)へ直行し、沖縄から来た服部氏と合流し、楽しい大会前日を皆で祝いました。又、評議会及び大会中に広告と日本区大会のアピールをしっかりとし、九州部の方々には大変良い感触を得て、無事帰って参りました。

尚、安い航空券を取って頂いた杉山さんには大変感謝致します。 阿部 一雄



西部部報告 (福山)

馬場夫妻・坂野・真田 10月12日

第45回西部大会は福山グランドホテルにて(13:00~18:00)開催されました。在籍399名中74名の登録でした。ホスト福山クラブの対馬兄による祈祷「ある金持ちのはなし」は興味深く日頃の行いを考えさせられました。また神戸YMCA山口総主事の講演「大震災という出来事を通して——人が見え、社会が見え、YMCAが変えられる。」では、震災で肉親を亡くされたワイズメンズの事も話され、身につまされる思いでした。

後半に15分間もアピールの時間をいただき、西部会員過半数200名の参加と協賛広告のお願いをしました。親睦会では励ましと共に多数の参加するとの声をいただき、桑田西部部長をはじめ皆様には感謝いたします。

馬場 寅太郎